

第1回 まちづくり町民会議

2018/12/27 PM7:00

@中央公民館

《式次第》

- 1 町長あいさつ
- 2 事務局説明（会議の進め方）
- 3 住民提案型会議の会長選出及び委員事務局の選出

会長：

事務局：

- 4 グループ分け発表
- 5 新庁舎建設にかかる経緯説明と作業について
 - ・議題テーマ「新庁舎建設場所について」
 - ・発表

休 憩

- 6 提案型課題の説明と作業について
 - ・議題テーマ「町に課題と解決策について」
 - *ポイント 自助 共助 公助の観点で！
 - ・発表

今回は、課題の洗出し
5つぐらいに絞る
何故、それが課題かも考える

- 7 その他
第2回開催日等について

§ まちづくり町民会議の進め方

《式次第》

- 1 目的
- 2 主な活動
- 3 話の進め方
- 4 費用とお願いについて
- 5 スケジュール

1 目的

本会議は、町民のまちづくりへの主体的な参画と協働のまちづくりを推進するための会議です。

2 主な活動

本会議は、以下の2本柱で構成されます。

1.町長諮問型

【事務局】
役場総務課

【会議内容】
町長から諮問される町の
施策について、話し合いを
行います。

例：新庁舎建設
水道水の硬度低減化など

2.住民提案型

【事務局】
まちづくり町民会議委員

【会議内容】
委員の皆さんからまちづ
くりについての課題を出し
合って話し合いを行いま
す。

例：子育て関係
事業提案など

町は、本会議が提言した事項について、町施策に反映するよう努めます。

3 話の進め方

本会議は約35名の委員で構成されることから、ひとりひとりの意見が埋もれたり、発言する機会が少なくなったりすることが想定されるため、5人1グループをつくり、多くの意見と活発な議論が出来る環境を構築し話し合いを進めます。

§ 全体会



事務局

まちづくり町民会議において、議題について説明を行い、質疑応答を経て、委員の皆さんは5人1グループで議題について話し合いをして頂きます。
例題：「新庁舎の場所」

§ 作業部会

メリット：ひとりひとりの意見が反映できる。



- ・各グループで「新庁舎の場所」について協議してもらいます。
- ・グループ構成は、事務局で割り振りします。(性別、年代を配慮します。)
- ・話し合いは、無理に意見をまとめる必要はありません。

【全体会で時間が足りない場合は、グループで別日に会議をしても構いません】

- ・会場代と1人200円の食糧費は、事務局で負担します。
- ・必要な事務用品があれば、事務局へ申し出てください。
- ・作業部会開催条件は、3人以上の出席を条件とします。
- ・テレビ会議システムの利用もできますので、事務局にご相談ください。
- ・会議内容は、事務局へメール等で報告してください。

§ 全体会

全体会で、作業部会で話し合った内容を報告してもらい、その後、全体で議論します。

4 諸費用とお願い

1 謝礼について

本会議は、無報酬です。

2 交通費について

実費支給をいたします。別紙「口座届出書」を事務局に提出してください。

3 作業部会について(全体会以外)

- ①3人以上出席が必要です。
- ②作業部会の風景を写真にとって提出してください。(参加人数が分かるように)
- ③会場使用料が発生する場所での開催は、事前に事務局へご連絡ください。(事務局が負担します。)
- ④茶菓子代として、1作業部会毎に1人200円以内で支給いたします。
(レシートや領収書を事務局に提出してください。)

4 事務用品について

- ①作業部会で使用する事務用品については、事前に事務局へご連絡ください。
(事務局で準備いたします。)
- ②方眼紙、付箋紙、マジックは事務局で準備します。
- ③プロジェクター、スクリーンを利用する場合は事前に事務局にご連絡ください。
- ④町では、テレビ会議システムを導入しております。どうしても作業部会等に参加できない場合は、パソコン、スマートフォン等、インターネットに繋がる端末をお持ちの人は、テレビ会議で参加することが可能です。テレビ会議の使用を希望する場合は、事前に事務局へご相談ください。

5 会議の公開

- ①基本、本会議は公開です。
- ②会議録、会場風景等については、公表します。(町HP、役場・図書館・あしびの郷ちなに冊子を備え付け) *会場写真に写りこみを控えたい人は、事務局にご連絡ください。

6 事務局への連絡について

知名町役場総務課 永野 道也

携帯電話：080-4316-2334 Email：nehenehe51@gmail.com

LINE ID：nehe8 利用しやすい方法で、ご連絡ください。

5 スケジュール

12/27 開催 第1回まちづくり町民会議

- ・新庁舎建設場所について
- ・まちづくりの課題洗出し

*この期間中に作業部会の開催

1/下旬 第2回まちづくり町民会議

- ・新庁舎建設場所の決定
- ・まちづくりの課題を5つに絞る

2/初旬 第3回まちづくり町民会議

- ・新庁舎建設場所を町長に答申
- ・まちづくりの課題について、具体的な施策を話し合う

*この期間中に作業部会の開催

3/中旬 第4回まちづくり町民会議

- ・新庁舎機能について話し合い
- ・まちづくりの課題について、具体的な施策を話し合う

S 役場新庁舎建設に向けた取組み

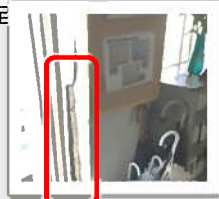
目的

平成28年度は町制施行70周年の節目の年であり、昭和38年に建設した本庁舎が50年余り経過し老朽化が著しく、業務拡大による狭隘化や分散化などにより防災体制の不備や業務の非効率であり、来庁者の利用に支障を来している。
また、近年の大規模災害の状況を受け、防災機能の強化を図ることが重要な課題となり、5年計画で新庁舎建設基本計画を5年以内に策定する。

■1 これまでの取組み内容(基本構想検討委員会)

2017.6.26 第1回新庁舎建設基本構想検討委員会を発足(H29.6.26)

- ・庁舎の現状説明
- ・スケジュール確認



縦割れのヒビ

【目的】

- 1 新庁舎建設に係る基本的事項
- 2 新庁舎建設の候補地に関する事
- 3 新庁舎建設規模に関する事
- 4 その他新庁舎建設に関し必要な事項に関する事

2017.9.5 PFIに関する研修会に委員が参加(H29.9.5) さつま町役場庁舎視察



PFIとは？

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導。
その結果、効率的かつ効果的な公共サービスの提供が図れる。

2017.9.19 第2回新庁舎建設基本構想検討委員会(H29.9.19)

- ・行政視察報告
- ・スケジュール確認



2018.4.21 第3回新庁舎建設基本構想検討委員会(H30.4.21)

- ・検討委員会情報の公開
- ・作業目的の再確認と今後のスケジュール
- ・プレンストーミングによるキーワードの洗出し



2018.5.30 第4回新庁舎建設基本構想検討委員会(H30.5.30)

- ・前回に引き続きプレンストーミング

2018.6.27 第5回新庁舎建設基本構想検討委員会(H30.6.27)

- ・答申(案)まとめ作業
- ・建設候補地について



■2 新庁舎建設候補地

候補地1：現在の場所(知名町役場：知名町知名307番地)
*理由

- ① 関係機関との連携を考慮した場合。場所が手狭であれば庁舎前の建物を購入するなどの対処をとる。
- ② 窓口機能はそのままの場所に残し、それ以外の機能を他の場所に移す。

候補地2：あしびの郷・ちな周辺(知名町瀬利党2362番地)
*理由

- ① 土地が広く、交通の便がよい。また、庁舎を平屋で建設が可能と思われる。
- ② 現在の場所で建設すると、仮設が必要になり、コストがかかる。また、国営地下ダム事務所が町に返還されることを考えると周辺施設の有効活用が可能。
- ③ 駐車場を確保できる。あしびの郷・ちなと連動し施設の有効活用が図れる。
- ④ 現在の場所より、塩害対策に対応している。

*付帯事項

- ・新たに用地を購入する場合は、町民目線で理解が得られるように努めること。
- ・新庁舎をあしびの郷・ちなにする場合は、現庁舎の位置を商業施設に出来ないか検討すること。また、行政以外の機関が建物を更新するかなどの情報を収集し慎重に検討すること。

■3 答申内容(抜粋)

1 新庁舎建設に係る基本的事項に関する事

- ① 誰もが利用しやすい庁舎
- ② 島や自然に優しく、明るい雰囲気のある庁舎
- ③ 効率的な庁舎
- ④ 住民に親しまれる庁舎
- ⑤ 災害に強い施設
- ⑥ 知名町のシンボルとしての外観・内装を工夫すること

2 新庁舎建設の候補地に関する事

- ① 災害を受けにくい場所
- ② 町民の利便性のある場所
- ③ 拡張性のある場所
- ④ 将来に負担をかけない場所
- ⑤ まちの活力を生み出せる場所

3 新庁舎建設規模に関する事

- ① 住民目線でサービスに配慮した機能
- ② 備蓄倉庫としての機能
- ③ 住民の憩いと交流促進が図れる機能
- ④ 来庁者の利便性に配慮した機能
- ⑤ 行政間の連携が図りやすい機能

4 その他新庁舎建設に関し必要な事項に関する事

新庁舎建設に関する財源は、民間資金の活用等を考慮し引き続き検討する

■4 これまでの取組み内容(周知活動)



町HP、広報ちなみにその活動を掲載。
役場、図書館、あしびの郷・ちなに紙ファイルを設置。

■5 住民説明会の開催



小学校区単位で説明会を実施。H30.10.12~23まで参加者は250名。

S 住民説明会出席者の新庁舎建設について

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	記入無	合計	構成比
実施すべき		12	12	27	77	37	7		172	90%
不要である					3		1		4	2%
わからない		1			3	1			5	3%
記入無	1		1		1	4	2	1	10	5%
計	1	13	13	27	84	42	10	1	191	100%

■6 役場内部での取組み



行財政改革の中に、新庁舎建設を踏まえた議論を行うべく、役場職員(課長級を除く)が、5つのプロジェクトチームに分かれて、話し合いを行っています。

内容には、住民サービス向上のための課再編等や、どのような機能を有するべきかを、行財政改革を踏まえ検討。

1回目 H30.7.13
2回目 H30.10.29

■7 課題

- ・新庁舎建設の財源
有利な起債が平成32年(2020年)までの時限立法であるので、今後は更に議論を急ぐ必要あり。

■8 今後の予定(間近)

平成30年12月を目途に「まちづくり町民会議」を開催し、平成31年3月を目途に新庁舎建設場所を決定する。
また、「まちづくり町民会議」は町民のまちづくりへの主体的な参画と協働のまちづくりを推進する為、開催します。

§ 新庁舎建設候補地比較

	現在地	あしびの郷・ちな	第3の候補
利点 (将来性)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の近くにある ・条例上の住所変更が不要 ・標識類の再整備不要 ・非常用発電機施設等がそのまま利用できる ・海拔21m (鹿児島県津波想定上問題無と思われる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の拡張性がある (公共施設の集約可能な場所である) ・引越し作業がスムーズに進むと思われる ・仮庁舎が不要である ・海拔46.7m (鹿児島県津波想定上問題無と思われる) 	
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保が出来ない。 ・仮設庁舎が必要になる。 ・土地の拡張性がみこめない ・仮庁舎が必要になる。 ・早急な解体費用が発生 ・引越しと仮庁舎の日程調整が必要になり、リース期間の延長が危 ・都市計画区域内(商業・業務ゾーン) ・土地購入について、地価が高い ・地価公示価格 10万円/坪 (知名313番3) 	<ul style="list-style-type: none"> 坂道の上にある 商店街から離れる 敷地内に「ア」の形状の空地がある 発電機などの再整備が必要 標識類の再整備が必要 都市計画区域内(農業ゾーン) 住所変更の条例が必要 ・地価公示価格 4.5万円/坪 (瀬利覚2253番1) 	

§ 建設費用について

■他市町村参考

区分	構造	m ²	坪	事業費(円)	坪単価(円)
与論町	RC造2階建	1999	604.6975	859,170,000	1,420,826
和泊町	RC造2階建	3634.48	1099.4302	1,588,120,000	1,444,494

■知名町

区分	構造	m ²	坪	事業費(円)	坪単価(円)
	総務省基準	3,067.84	928.022	1,392,032,400	1,500,000
	国土交通省基準	3,415.48	1,033.183	1,549,774,050	1,500,000

§ 現庁舎情報

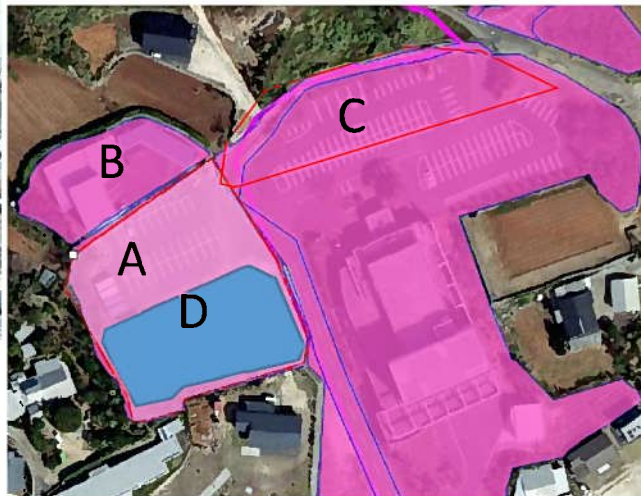


①ピンク色の面積（商工会・職員組合事務所除く）
3,066㎡

②事務所面積	竣工
本庁舎	760 昭和39年1月
水道課建物	340 昭和44年5月
子育て支援課	41
選挙管理委員会	52
第2会議室	27
農林課・耕地課	245 昭和37年3月
議会棟	600 昭和53年11月
2,065 ㎡	

③駐車場
役場前 3台 公用車駐車場約12台 稲水公園駐車場約14台

§ あしびの郷・ちな情報



A 4,087㎡ D 2,209㎡
B 1,433㎡
C 3,022㎡

駐車場台数 110台
大型バス 6台
障害者・妊婦等優先エリア 5台

§ 役場庁舎出勤方法調査結果 2018/9/3

1 区分集計結果

区分	1 庁舎敷地内	1 庁舎敷地内(軽便橋)	2 平安宅側駐車場	3 アミカ裏駐車場	5 庁舎周辺の駐車場を別契約	6 その他	稲水公園(軽便橋)	(空白) 総計
1 徒歩								16 16
2 自転車	2		1					3
3 バイク	13				3			16
4 車	2	8	42	18		3	8	81
総計	17	8	43	18	3	3	8	110

* 駐車場のその他は、光通信駐借付近

§ 参考情報

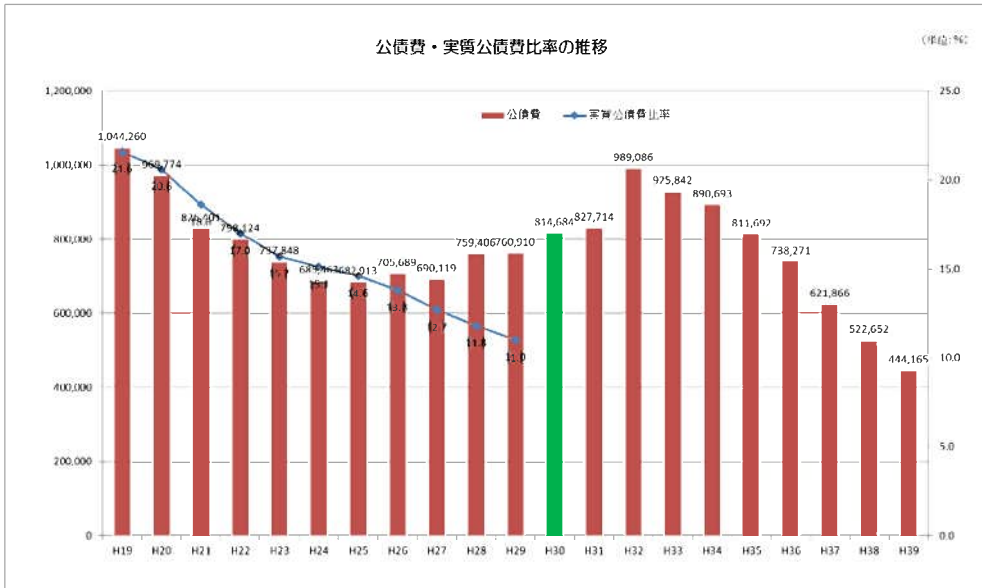
1 現庁舎解体費用

1億2,381万6千円
*算出根拠：知名幼稚園解体単価を元に算出

2 プレハブリース料
2,000㎡ 2階建て
2億6,300万円
*算出根拠：与論町庁舎建設担当者からの情報提供

3 移設費用

- ①町ネットワーク関係 1,630万8千円
- ②光設備関係 245万7千円
- ③防災無線関係 1,655万5千円
- ④水道課テレメーター (浄水場管理システム) 4,400万円 *新システム導入



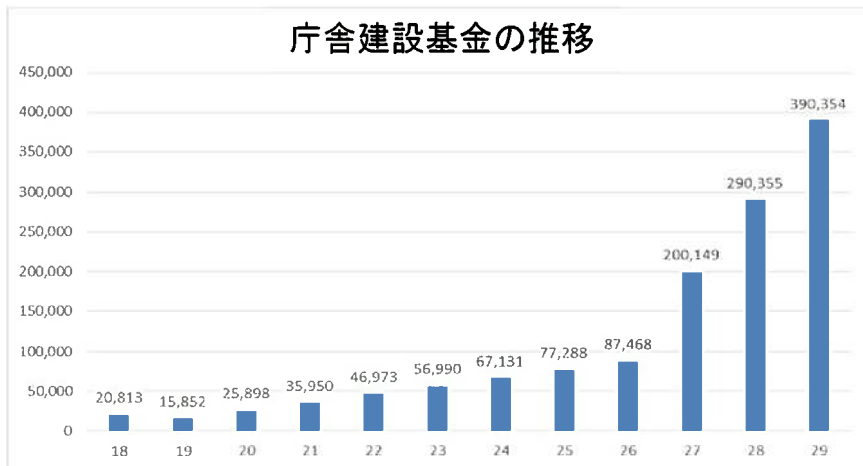
■ 想定される大型公共事業

*金額は現時点での費用です

- 給食センター建設
- 下平川小学校屋内運動場
- 公営住宅
- 水道水硬度低減化
- フローラルホテル改修

- 国営地下ダム地元負担金

庁舎



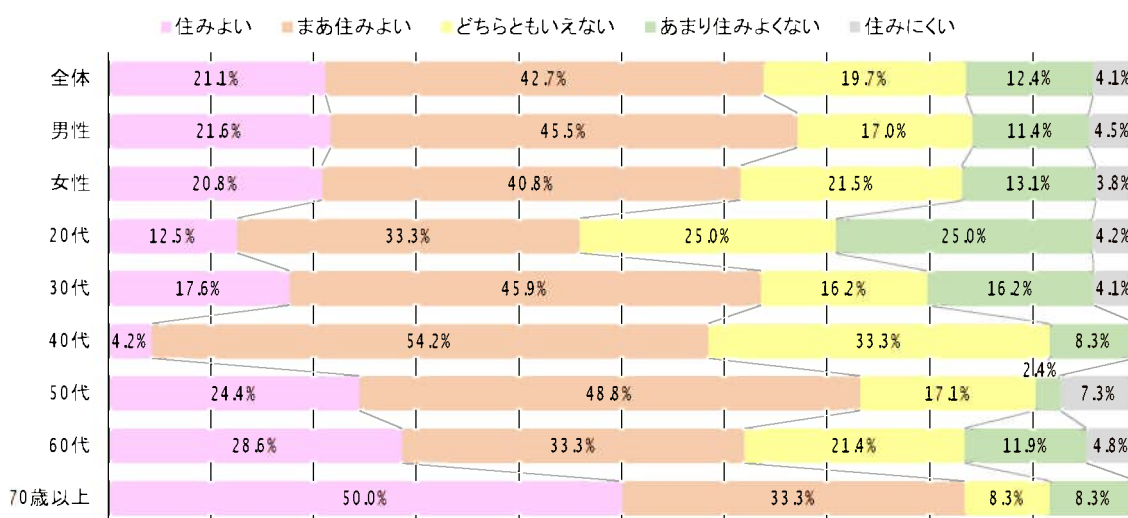
④ 調査結果

■一般意識調査

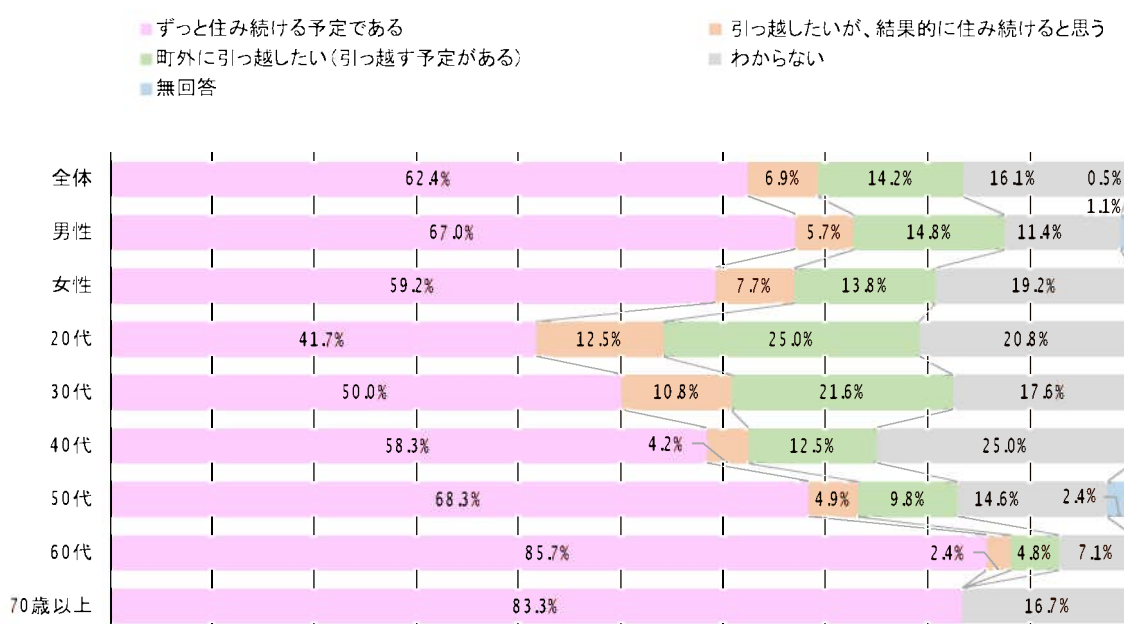
知名町を住みよいまちだと思ふかについて、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると 20代は 45.8%と 50%を下回っているものの、それ以外の世代では「住みよい」と「まあ住みよい」の割合が 50%以上となっている。

今後も知名町に住み続ける予定の有無について、全体では 62.4%が「ずっと住み続ける予定である」としており、年齢別にみると、年齢を重ねるにつれ、「ずっと住み続ける予定である」の割合が大きくなっている。

図表 42 あなたは、知名町を住みよいまちだと思いますか。【単数回答】



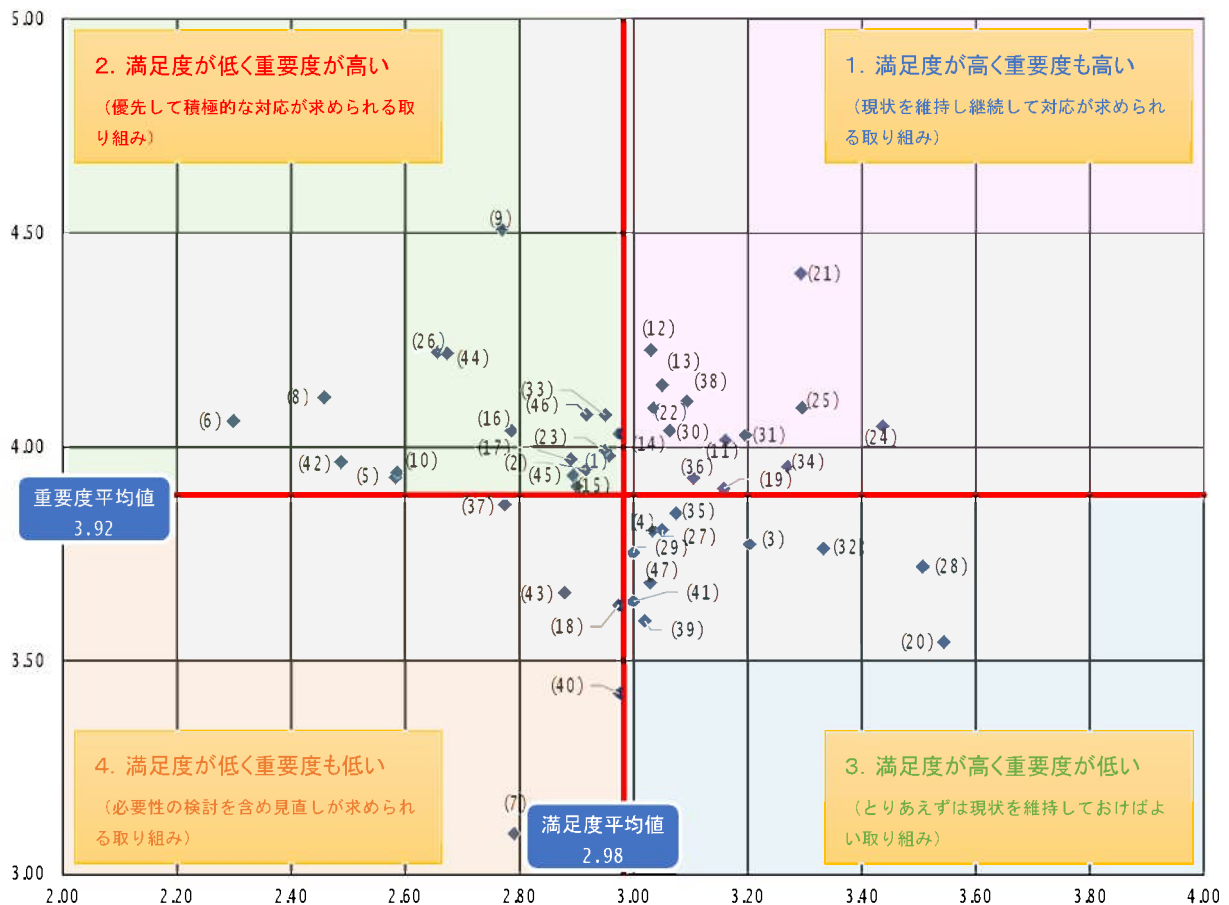
図表 43 今後も知名町に住み続けるご予定ですか。【単数回答】



本町のこれまでの取り組みについて、ポートフォリオ分析を行った。優先して積極的な対応が求められる取り組みは、「2. 満足度低く重要度が高い」エリアの項目であり、本町の場合は、「企業誘致の推進」、「商店街の活性化」、「誘客・宣伝の強化」が特に優先して積極的な対応が求められる取り組みとなっている。

図表 44 満足度・重要度のポートフォリオ分析

【満足度の点数化】
 「満足」＝5点「やや満足」＝4点「どちらともいえない」＝3点「やや不満」＝2点「不満」＝1点
 【重要度の点数化】
 「重要である」＝5点「やや重要」＝4点「どちらともいえない」＝3点「あまり重要ではない」＝2点
 「重要ではない」＝1点
 として求めた回答者（「無回答」除く）の平均得点を表した重要度指数を算出



1 農業の担い手等	17 環境整備の推進	33 環境美化活動
2 地方増進等	18 男女共同参画社会の実現	34 ごみの減量化・分別
3 区画整理等	19 母子保健の推進	35 ICT〔情報通信技術〕環境の整備
4 農道整備の推進	20 各種保健事業の充実	36 生活道路・幹線道路の整備
5 耕作放棄地等	21 緊急救助体制の強化	37 町営住宅の整備
6 企業誘致の推進	22 要援護者の災害時援護	38 上下水道の整備
7 世界自然遺産登録	23 道路交通環境の整備	39 公共交通（バス）の運行
8 商店街の活性化	24 学校教育環境の充実	40 ボランティア団体等の活動
9 誘客・宣伝の強化	25 学校教育内容の充実	41 住民主体の地域づくり
10 観光資源の整備開発	26 園児・児童・生徒減少に伴う対応	42 空き家の利活用策等
11 高齢者の生きがい対策	27 社会教育並びに施設の充実	43 修学旅行などの交流促進
12 サービス供給体制の確保	28 文化活動の推進	44 財政基盤の強化
13 保育所施設等の整備・充実	29 地域における福祉活動が充実	45 集落の再生
14 乳幼児教育相談等の充実等	30 火災や災害への対策・体制整備	46 役場の住民サービス
15 生活基盤の確立	31 交通安全や防犯など、地域の安全対策	47 議会の情報提供
16 障害者福祉サービスの充実	32 環境保全対策	

図表 45 各取組の満足度平均・重要度平均

	項 目	満足度平均	重要度平均
1	11 高齢者の生きがい対策	3.16	4.02
	12 サービス供給体制の確保	3.03	4.22
	13 保育所施設等の整備・充実	3.05	4.14
	14 乳幼児教育相談等の充実等	2.98	4.03
	21 緊急救助体制の強化	3.29	4.41
	22 要援護者の災害時援護	3.04	4.09
	24 学校教育環境の充実	3.44	4.05
	25 学校教育内容の充実	3.30	4.09
	30 火災や災害への対策・体制整備	3.06	4.04
	31 交通安全や防犯など、地域の安全対策	3.20	4.03
	34 ごみの減量化・分別	3.27	3.95
	36 生活道路・幹線道路の整備	3.11	3.93
	38 上下水道の整備	3.09	4.10
2	1 農業の担い手等	2.96	3.98
	2 地力増進等	2.92	3.94
	5 耕作放棄地等	2.58	3.93
	6 企業誘致の推進	2.30	4.06
	8 商店街の活性化	2.46	4.12
	9 誘客・宣伝の強化	2.77	4.51
	10 観光資源の整備開発	2.59	3.94
	16 障害者福祉サービスの充実	2.79	4.04
	17 環境整備の推進	2.89	3.97
	23 道路交通環境の整備	2.95	3.99
	26 園児・児童・生徒減少に伴う対応	2.66	4.22
	33 環境美化活動	2.95	4.07
	42 空き家の利活用策等	2.49	3.96
	44 財政基盤の強化	2.67	4.22
45 集落の再生	2.89	3.93	
46 役場の住民サービス	2.92	4.07	
3	3 区画整理等	3.20	3.77
	4 農道整備の推進	3.03	3.81
	18 男女共同参画社会の実現	2.98	3.63
	19 母子保健の推進	3.16	3.90
	20 各種保健事業の充実	3.54	3.54
	27 社会教育並びに施設の充実	3.05	3.81
	28 文化活動の推進	3.51	3.72
	29 地域における福祉活動が充実	3.00	3.75
	32 環境保全対策	3.33	3.76
	35 ICT（情報通信技術）環境の整備	3.07	3.84
	39 公共交通（バス）の運行	3.02	3.59
	40 ボランティア団体等の活動	2.98	3.42
41 住民主体の地域づくり	3.00	3.64	
47 議会の情報提供	3.03	3.68	
4	7 世界自然遺産登録	2.79	3.10
	15 生活基盤の確立	2.90	3.91
	37 町営住宅の整備	2.78	3.86
	43 修学旅行などの交流促進	2.88	3.66

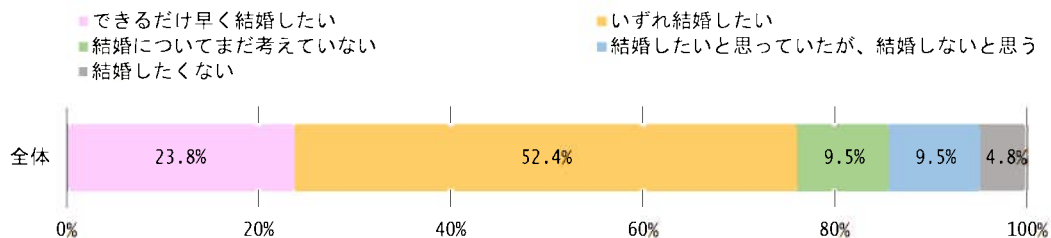
■若年意識調査

若年意識調査のうち未婚者の結婚希望の有無について「できるだけ早く結婚したい」と「いずれ結婚したい」を結婚希望とすると **76.2%**が結婚を希望している。(後段の設定値では、対象年齢・無回答除くなど算出方法数が異なるため値は合致しない。)

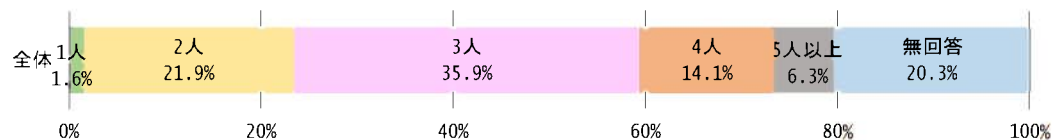
理想の子どもの人数については、「3人」が **35.9%**と最も多く、次いで「2人」の **21.9%**となっている。

今後、充実を図って欲しい子育て支援策として、「医療費助成など安心して子どもが医療機関にかかれる体制を充実して欲しい」と「公園などの子ども達が遊ぶ場所を確保して欲しい」が **55.0%**と最も多く、次いで「障がい児発達支援の必要な子どもたちの支援体制を充実して欲しい」となっている。

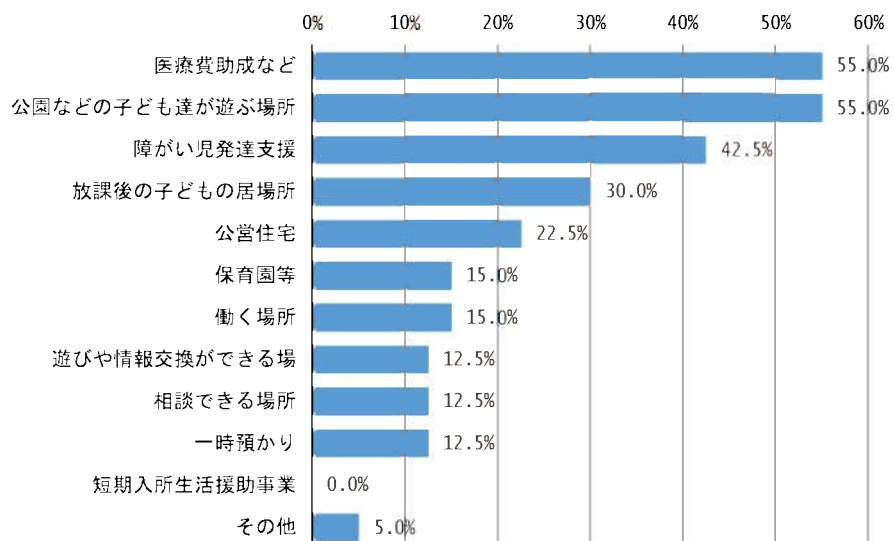
図表 46 未婚の方にお伺いします。あなたは、結婚したいと思いますか。【単数回答】



図表 47 あなたの理想の子どもの人数は何人ですか。【単数回答】



図表 48 今後、どのような子育て支援の充実を図って欲しいですか。【複数回答】



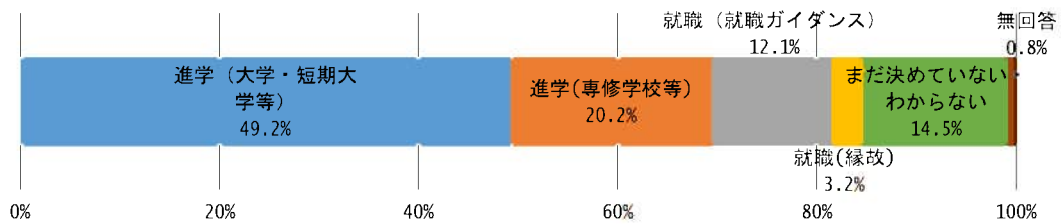
■高校生意識調査

高校卒業後の進路について「進学」が69.4%、「就職」が12.1%となっている。

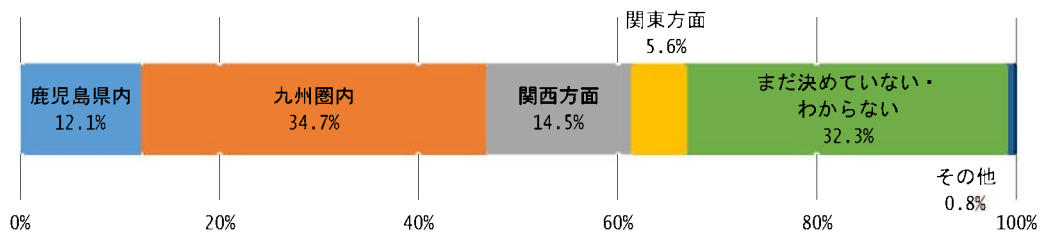
進学先または就職先について、「まだ決めていない・わからない」を除くと、「九州圏内」が最も多く、次いで「関西方面」が14.5%、「鹿児島県内」の12.1%となっており、「沖永良部島（就職）」は0%となっており、若者が島を離れる傾向がみられる。

しかしながら、いつかは島に帰ってきて生活したいかについて、「希望する」と「どちらかという希望する」を合わせると75.0%の学生たちが島での生活を望んでいる。

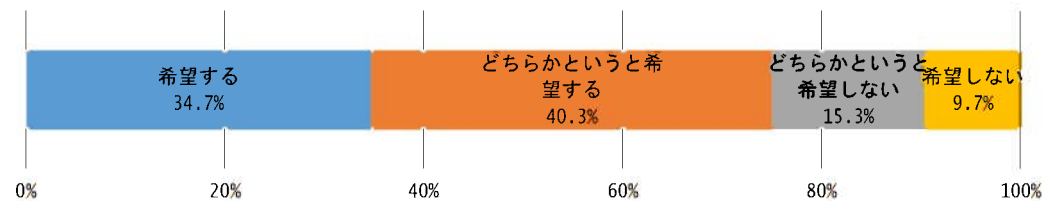
図表 49 高校卒業後の進路は、どのように考えていますか。【単数回答】



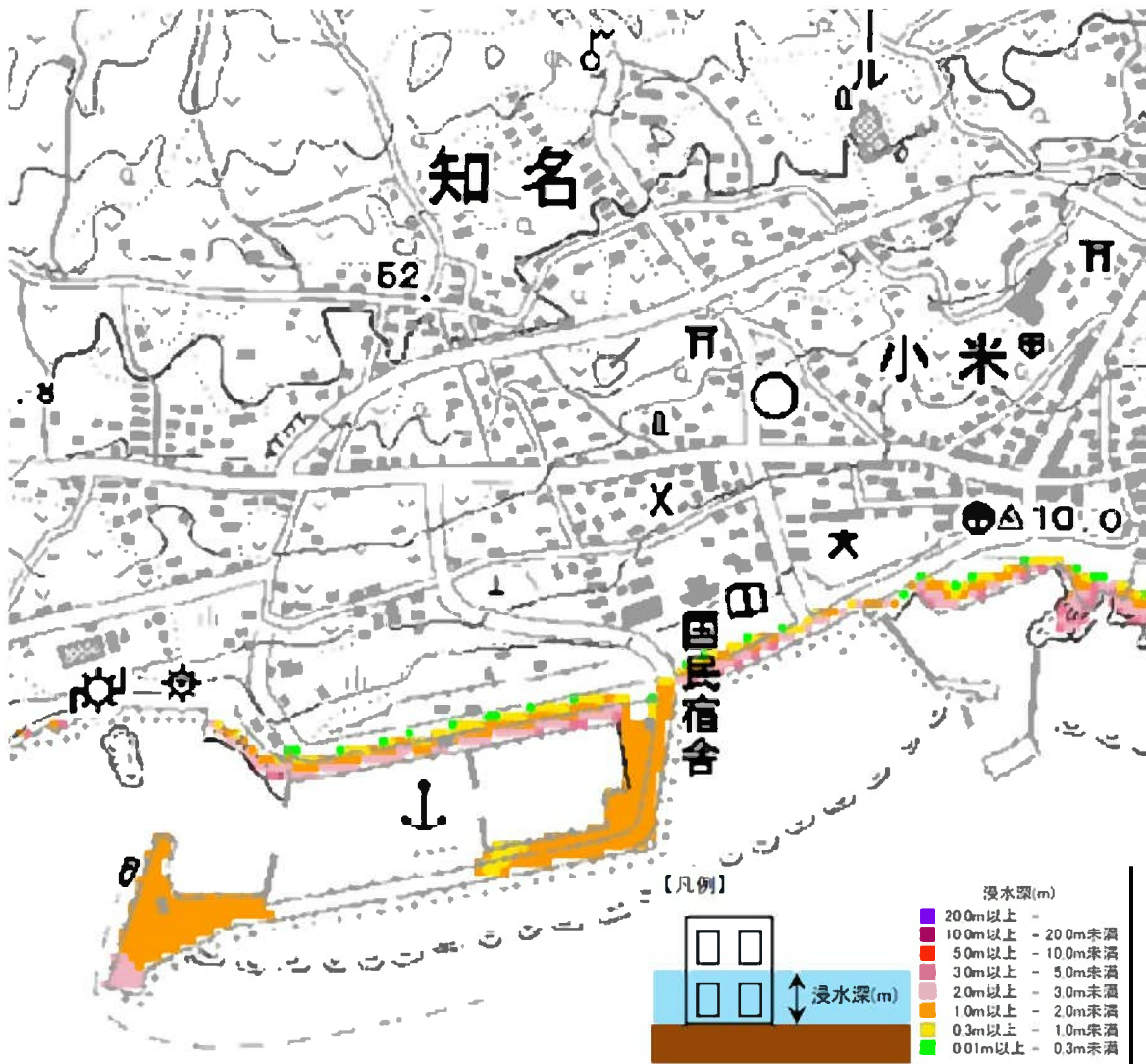
図表 50 進学先または就職先についてはどのように考えていますか。【単数回答】



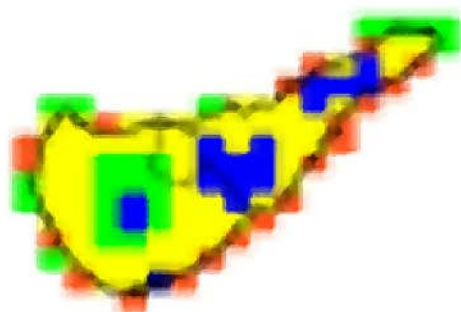
図表 51 もし、あなたが、進学・就職等の理由で、いったんは島を離れることになったとしても、いつかは島に帰ってきて生活をしたいと希望しますか。【単数回答】



参考 鹿児島県浸水想定図
 地震名 奄美群島太平洋沖（南部）
 マグニチュード 8.2 震源の深さ10km



§ ゆれやすい地層



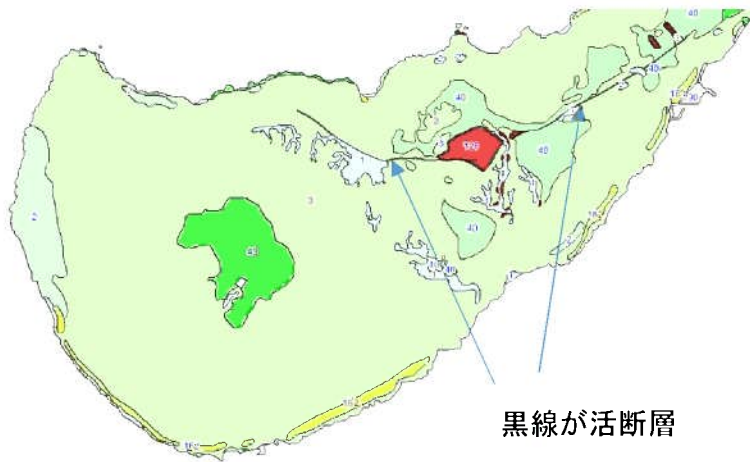
計測震度増分	色	
1.0 ~ 1.65	赤	ゆれやすい ↑ ↓ ゆれにくい
0.8 ~ 1.0	赤	
0.6 ~ 0.8	黄	
0.4 ~ 0.6	緑	
0.2 ~ 0.4	青	
0.0 ~ 0.2	青	
-0.95 ~ 0.0	青	ゆれにくい

資料元：緊急地震速報のリーディングカンパニー UJコーポレーション

§ 活断層

活断層とは、過去数十万年の間に活動し、将来も活動する可能性のある断層。活動は地震を引き起こす。

資料元：国立研究開発法人産業技術総合研究所HPより

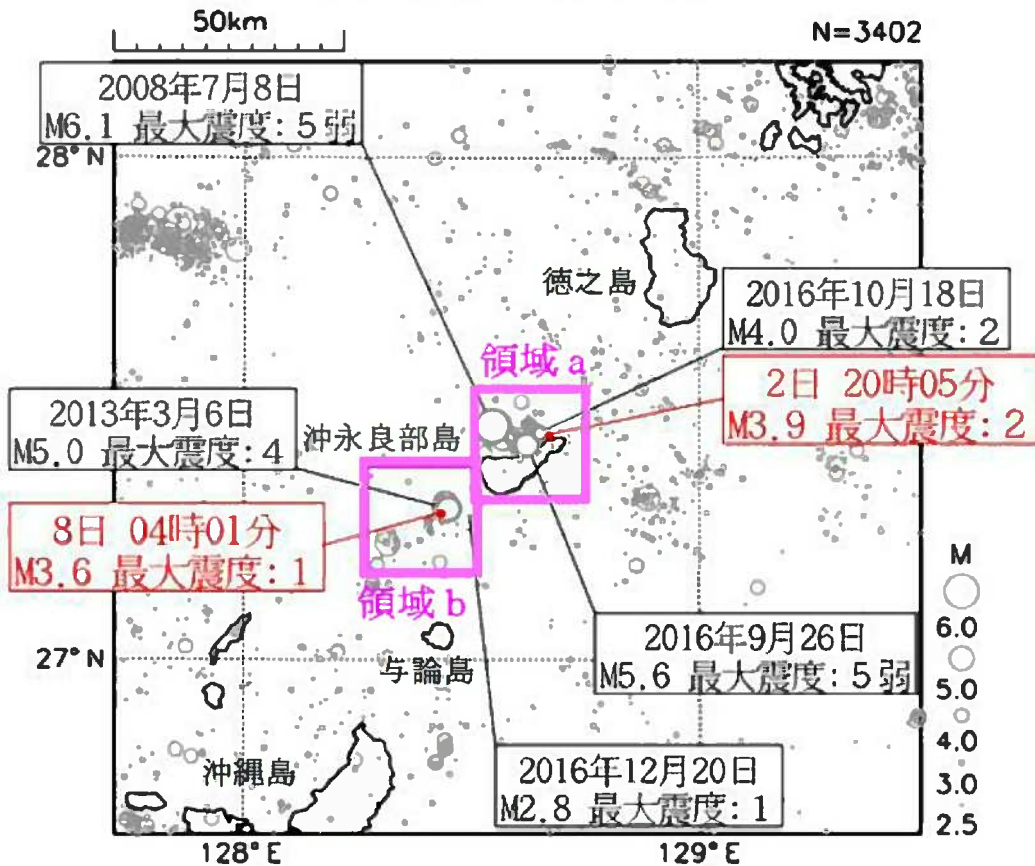


§ 最近の地震発生箇所と規模

鹿児島地方気象台

資料元

赤色は2017年2月の地震



震央分布図

(1997年10月1日～2017年2月28日、
深さ100km以浅、M2.5以上)